



地域における保育の質の向上の体制整備 調査研究（モデル事業）について

ASAHIKAWA CITY

事業の目的

地域の実情を踏まえつつ、自治体が中核となり、地域全体で保育の質の確保・向上を推進する体制整備のモデル開発を行い、地域ぐるみで質の高い保育を保育所等が行うことができる体制の構築を推進する。

事業の概要

都道府県等から3年程度モデル地域を継続的に指定し、地域単位で、保育内容に関する課題の把握、地域における保育実践・改善に関する指導助言、研修等の企画立案等を担う中核的機能を構築し、域内の保育所等の保育の質の確保・向上のための取組を進めつつ、持続的に地域全体で保育の質を確保・向上させるための仕組みのモデル開発を行う。

(中核的機能の例)

- 保育指導職の配置
- 幼児教育センターや大学等との連携等による保育の質の確保・向上のための地域のネットワークの形成

(想定される取組の例)

- 地域の課題を踏まえた独自の研修の実施
- 公開保育による交流の機会の創出
- 公立園の拠点化
- 法人をまたぐ施設間の職員の交流等



実施主体等

【実施主体】

都道府県、指定都市・中核市、10万人程度以上の市町村（計6箇所程度）

【委託基準額】

都道府県等1か所当たり 800万円程度

モデル事業概要



事業目的

地域内の保育所等が抱える課題を把握・共有し、園と行政の中間支援的役割を果たす「中核的機能」を活用し、園への伴走支援、好事例の共有、研修機会の提供などを通じて、現場主導による「保育の質」のための支援体制を構築すると共に、継続的かつ発展的なネットワークの形成を目指す。

事業概要

1. 保育サポートコーディネーターの設置・巡回

地域内の施設巡回により、各園の課題やニーズを聞き取り、生の声を集約・分析して行政の取組に反映させるほか、現場改善のPDCAを巡回でサポートする。

採用職員：1名（会計年度パート職員・保育や福祉分野等の実務経験を有する専門職）

業務内容：市内施設への巡回訪問等による実情把握・施設間の連携推進

2. 関係機関連携会議の開催（年3～4回）

旭川市保育センターを中核とし、地域の保育施設に対して「対話」「連携」「共有」を軸に、持続可能な質向上体制を構築を目的として「あさひかわ保育・幼児教育連携会議」を定期的を開催する。

実施主体：旭川市保育センター（事業担当）

連携機関：旭川民間保育所相互育成会・旭川私立幼稚園協会・市内保育幼児教育施設・旭川市立大学短期大学部

3. 上記を基盤とした、保育の質の向上に向けた取組の実施

上記の取組を継続的に実施することに加え、各種調査・分析やテーマ別小グループ連携ワークショップ、人材育成研修や支援などの取組を実施し、保育の質向上の中核機能モデルの体系化を行う。

事業スケジュール

年度	調査・研究の軸	実施内容
R7年度	実態把握と中核的機能の基盤整備 （基盤整備期）	- 7-1 園への個別ヒアリング・実態把握 - 7-2 保育・幼児教育連携会議の実施 - 7-3 各種調査・分析（随時） - 7-4 優良事例現地調査 - 7-5 キックオフシンポジウムの開催
R8年度	モデル的な連携・支援の試行と検証 （実装・拡大期）	- 8-1 "7-1～7-4"の取組継続 - 8-2 園間のネットワーク構築 - 8-3 保育の質の向上に係る研修・支援等の仕組み化 - 8-4 テーマ別ワークショップの試行
R9年度	モデルの体系化と波及・定着 （体系化・定着期）	- 9-1 "7-1～7-4・8-2～8-3"の取組継続 - 9-2 テーマ別ワークショップの開催 - 9-3 ガイドラインなどの作成 - 9-4 成果・効果の整理と報告書作成 - 9-5 モデル共有・横展開

モデル事業体系図

